

# 船舶事故調査報告書

平成24年5月31日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 庄 司 邦 昭  
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗揚
発生日時	不明（平成23年4月27日 18時ごろ～28日 06時ごろの間）
発生場所	長崎県五島市 葛島西端のビシャゴ鼻 長崎県新上五島町所在の有福島灯台から真方位215° 2.2海里付近 （概位 北緯32° 53.4′ 東経128° 54.3′）
事故調査の経過	平成23年4月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 祐勝丸、8.5トン NS2-14656（漁船登録番号）、個人所有 14.65m（Lr）×3.19m×1.29m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数60、昭和57年4月20日
乗組員等に関する情報	船長 男性 80歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和51年4月30日 免許証交付日 平成18年10月10日 （平成24年2月25日まで有効） 甲板員 男性 52歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成4年5月14日 免許証交付日 平成19年11月13日 （平成24年11月12日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）、行方不明 1人（甲板員）
損傷	船底に亀裂及び破口、船首部が大破、操舵室が脱落
事故の経過	本船は、船長及び甲板員が乗り組み、いか釣り漁のため、平成23年4月27日18時ごろ五島市奈留島相ノ浦湾の池島泊の定係地を出航し、翌28日06時ごろ奈留島船廻湾の矢神ノ小島西方沖において、転覆して漂流しているところを奈留島矢神漁港の防波堤で釣りをしていた住民によって発見され、漁業協同組合を通じて07時ごろ海上保安部に通報された。 本船は、07時15分ごろ矢神漁港の防波堤の消波ブロックに漂着し、09時45分ごろ僚船により同漁港の岸壁にえい航された。 船長は、海上保安部及び僚船等の捜索により、翌29日12時05分ごろ本船の発見場所から北西4.5km付近のビシャゴ鼻において赤色ペイントが付着した岩場（以下「本件岩場」という。）付近の海底で発見され、溺死

	と検案された。また、甲板員は、行方不明となり、発見されていない。	
<p>気象・海象</p>	<p>気象：天気 晴れ</p> <p>五島市福江特別地域気象観測所における4月27日～28日の気象観測値</p> <p>27日 18:00 風向 西、風速 3.0m/s、気温 16.7℃  19:00 風向 西、風速 3.7m/s、気温 15.4℃  20:00 風向 西北西、風速 4.3m/s、気温 15.0℃  21:00 風向 北西、風速 5.2m/s、気温 14.2℃  22:00 風向 北西、風速 5.3m/s、気温 13.6℃  23:00 風向 西北西、風速 5.6m/s、気温 13.2℃  24:00 風向 西北西、風速 6.8m/s、気温 13.2℃</p> <p>28日 01:00 風向 西北西、風速 6.2m/s、気温 12.6℃  02:00 風向 北西、風速 6.8m/s、気温 12.4℃  03:00 風向 北西、風速 5.6m/s、気温 12.0℃  04:00 風向 北西、風速 6.1m/s、気温 11.8℃  05:00 風向 西北西、風速 6.5m/s、気温 11.6℃  06:00 風向 西北西、風速 5.1m/s、気温 11.3℃</p> <p>海象：波高 約1.5m</p> <p>五島市に強風、波浪注意報発表中</p>	
<p>その他の事項</p>	<p>本船は、ふだん、定係地を18時ごろ出航し、翌朝05時～06時ごろ帰航していた。</p> <p>奈留島付近海域で操業している僚船は、27日の夕方には通常どおりに出漁しており、出漁を見合わせるような天候ではなかったが、夜中に天候が悪化し、22時半ごろに帰航した船もいた。</p> <p>本船は、転覆した状態で発見されたとき、赤色に塗装された船底に亀裂及び破口を生じており、プロペラには船尾甲板に積載していた刺し網が巻き付いていた。</p> <p>本船は、船首部が大破し、操舵室が脱落しており、本船が漂着した矢神漁港の防波堤の消波ブロック付近から、破損した船体の残骸や集魚灯の安定器などが発見された。なお、本船の船体には、他船と衝突した痕跡はなかった。</p> <p>船長は、発見されたとき、救命胴衣を着用していなかった。</p> <p>船長は、携帯電話を所持しておらず、甲板員は、携帯電話を所持していたが防水型ではなかった。</p> <p>本件岩場は、干潮時のみ海面上に現れる。</p>	
<p>分析</p>	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>本船は、27日18時ごろ奈留島の池島泊の定係地を出航後、翌28日06時ごろ矢神ノ小島西方沖において転覆した状態で漂流しているところを発見され、赤色に塗装された船底に亀裂及び破口を生じており、赤色ペイントが付着した本件岩場付近の海底で船長が発見されたことから、27日18時ごろ～28日06時ごろの間において、</p>

		<p>ビシャゴ鼻の本件岩場に乗り揚げた可能性があると考えられるが、船長が死亡し、甲板員が行方不明となったことから、乗揚に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、溺死した。</p> <p>船長は、落水して溺水したのと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>甲板員は、落水して行方不明になったのと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、奈留島の池島泊の定係地を出航後、本件岩場に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。</p>	
参考	<p>今後の同種事故等による被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救命胴衣を着用すること。</li> <li>・落水した際の連絡手段として防水型携帯電話を常に所持しておくことが望ましい。</li> </ul>	